

複合助詞につく「は」 －「について」と「については」－

三枝 令子

要旨

もとの動詞の意味を残しつつ助詞化した複合助詞は、文において語の関係を明確にするために、補充的に使われるものである。一般に、複合助詞が「は」で取り立てられることは少ないが、時に、「においては」「にかけては」のように、「は」が付加されることもある。その場合の「は」は、多くの場合、対比の意味に解釈できる。しかし、一部の複合助詞「によって」「について」「に関して」等においては、「対比」以外の「は」が現れる。本稿では、複合助詞に「は」がつく場合、つかない場合、また、複合助詞に「は」がつく場合の意味について考えた。あわせて、日本語の学習教材では複合助詞に「は」がつくことに触れていることが少ないので、日本語学習者に注意を促す必要があることを述べた。

キーワード：複合助詞、「については」、「によっては」

1 はじめに

日本語の助詞としては、「が」「を」「に」等の「格助詞」、「は」「も」等の係助詞が代表的なものだが、周辺の助詞に「複合助詞」と呼ばれる一連の語がある。「複合助詞」は、複数の語が結びついて、一つの助詞として機能している。「について」「に基づいて」「のせいで」「とともに」などが「複合助詞」とよばれるものである。これらの語は、上級の日本語学習者にとっては、習得が必要な項目であるが、似た意味の語も多く、使いこなすのが難しい。そして、ある程度使いこなすことができるようになった上級の学習者であっても、次のような落着きの悪い文を作ってしまうことがある。

- (1) そして、場合によって学級崩壊が起きている教室では、中心的な生徒たちへのきびしい態度と同時に静かな生徒たちをほめるのは必要だと思う。
- (2) <表の説明>エネルギー不足について、中国、韓国、タイがやや高く、マレーシア、インドネシアが相対的に低い。
- (3) さて、日本の中華菓子について、いくつか特徴があると思う。

いずれも、複合助詞「によって」「について」に、「は」を付加したほうが落ち着いた文となる。学習者にとっては、複合助詞を使いこなすことがすでにむずかしく、そこに「は」が必要とされるかどうかまでは考えが及びにくいだろう。また、日本語の教科書類の説明を見ても、そこまで言及しているものを見かけない。本稿では、どういう場合に、複合助

詞に「は」が付加されるのかを考えてみたい。なお、本稿で扱う複合助詞は、テ形の形をとるものに限定する。

2 「は」がつく複合助詞とつかない複合助詞

複合助詞には、「は」がまったくつかないものと、場合によっては「は」がつくものがある。つく、つかないの基準として、ここではデータベース CASTEL/J の中の評論 39 冊（内訳：自然科学 9、歴史 10、社会科学 13、言語 7）に出てくる複合助詞をみてみた。その結果、「は」が 1 例もつかない複合助詞には、以下のものがあつた。

にあつて、に应じて、に加えて、に即して、につれて、
にもとづいて、にわたって、を通じて、を通して

一方、「は」がつき得るものとして、以下の複合助詞があつた。

にあたつて、にあつて、にいたつて、において、にかけて、に関して、
にさいして、に対して、について、にとって、によって
として

「は」がつく複合助詞とつかない複合助詞とがあるのは、その複合助詞に構文的な違いがあるためと考えられる。「は」がつかない複合助詞の用例をみる。

- (4) このように官尊民卑の風潮がなくなり、労働組合が社会的に認知されたのに加えて、労働基準法は、婦女子と年少男子の深夜業や坑内作業の禁止と八時間労働制を確立したし、職業安定法は、公的職業紹介によらない私的な職業あつせんを禁止した。(企業)
- (5) ふたたび私的な体験に即して、この当時をふりかえってみたい。(パチンコ)
- (6) 物が街に満ちあふれ、万事世の中が贅沢になってしまった現在、潤沢なことは必ずしも願望的とはならなくなってしまったが、それに伴ってこうした庶民カラーの強い言葉が色あせていくとしたら、残念だ。(形副篇)
- (7) ところが、発掘が進むにつれて、それまであつた古墳を破壊して、農地にしていたことが裏づけられたという。(たべもの)
- (8) 各人の資質、能力の多面的な評価を通じて将来の進路を解明し、適材適所の配置により人材の有効活用を図る。(停年)
- (9) つまり、家が仕事場であるような自営業をいとなむ人々の子供は、それぞれ親の働く様を見て育つて来ている。自然のうちに、親を通して職業のイメージが育てられているわけである。(働く)

ここで用いられている複合助詞は、述部の述語に修飾的にかかっている。たとえば、最後の二つの用例では、「評価を通じて」「親を通して」は、それぞれ「進路を解明（する）」「イメージが育（つ）」がどのようになされるかを説明している。

次に、「は」がつく複合助詞の用例をしてみる。

- (10) 日本社会において（で）、闘争の關係に本当にたっているのは、資本家あるいは経営者と労働者ではなく、A社とB社である。（タテ社会）
- (11) 初詣でといつて大晦日の深夜から元旦の朝にかけて（に）、全国の神社や寺におびたしいひとびとが参詣するのはなぜであろうか。（神々）
- (12) 奥さんがご主人に対して（に）敬語をいつも使っているとすれば、だれが来てもその敬語をいつも使う、というのが昔の日本語でした。（敬語）
- (13) 親戚以外の「おじさん」「お婆さん」は、「小父さん」「小母さん」と書かれることがあります。いわゆる「オジン」「オバン」は親戚以外について（を）言うのだと思います。（敬語）
- (14) ところが、この見学旅行が終わって一年もしないうちに、その大部分のインド人技師たちは、よりよい給料を出す外国の会社に移ってしまった。これは、本社にとって（に）たいへんショックであつた。（適応）
- (15) とくに賠償問題をめぐって（で）、東西対立は先鋭化した。（西洋史）

これらの例では、複合助詞は、文の中で、一つの格を担っていると言える。もとより意味が同じであるわけではないが、ここでの複合助詞は、複合助詞の後ろの（ ）内の格助詞と置き換えられる。菊地（1995）は、「「Xは<述部>」の述部がXについての情報として成り立つことが最も問題なく保証されるのは、Xが、その述部末の述語に対して格関係を持つ場合」¹と述べているが、これらの複合助詞も格関係を担い得るために取り立てることが可能となり、「は」がつくと考えられる。

以上、「は」がつき得ない複合助詞は、述語に修飾的にかかり、「どのように」という様態を表すのに対して、「は」がつき得る複合助詞は、その文の中で格関係を担い得ることをみた。

3 複合助詞につく「は」の意味

テ形の複合助詞はその中に動詞の語形を含んでおり、動詞としての性格がまったくなくなっているわけではない。そして、そこに残る動詞としての意味が、助詞にはない意味を複合助詞にもたらしめている。砂川（1987）は「友達に告げ口された」は多義的だが、「「友達

¹ 菊地（1995）39頁

によって「友達に対して告げ口された」のように、複合助詞を使うことによって、関係構成的な意味が明確に表示できるようになる」点、そして「あいまいな関係、あるいは格助詞によって結びつけられないような結びつきの弱い関係にある二者をことさらに関係づけるような働き」²が複合助詞にあることを指摘している。この関係構成的な意味を持つことにより、複合助詞のいくつかは、先に見たように、いわゆる助詞と置き換えることが可能である。しかし、そこでの格は、主格の「が」といった文中での重要度が高い上位の格ではない。野田(1996)は、主題になりにくい成分として、能力や感情を表す「が」、出発点や通過点を表す「を」、結果や原因を表す「に」、手段や材料を表す「で」、それに「へ」「と」をあげているが、ここにあげる複合助詞の格役割は、これよりさらに低いだろう。こうした複合助詞に「は」がつく場合は、ほとんど対比と解釈される。

4 「は」がつく複合助詞 「は」がつく場合とつかない場合

複合助詞に「は」がつく場合は、ほとんど対比と解釈されるが、この「は」は、必ずしも義務的ではない。次の例では、「は」がなくても不自然ではない。

- (16) 社会人類学者にとっては、きわめて常識的になっていることでも、一般にはまだまだ知られていないことが多い。(適応)
- (17) 開始から中ほどにかけて波高(振幅)が大きくなり、後半にかけては小さくなるので、・・・(睡眠)
- (18) 金大統領は昨年八月、北朝鮮の農地回復のための農機具貸与など経済協力の用意があることを表明していたが、七日の年頭会見では「協議に乗りだせるのを期待している」とした。しかし一方で、北朝鮮の「遺憾表明」について「重要なのは言葉ではなく実践」「時代錯誤的な共産主義化統一の妄想を捨てることを望む」などと注文をつけた。

そのうえで北朝鮮の状況について「不確実な地域」と言明。最近一カ月の間に北朝鮮軍のミグ戦闘機が三機墜落した事を明らかにし、その原因として燃料不足などの可能性があるとして説明した。延期となっている南北首脳会談についても「話す時期にない」と述べるにとどまった。

金融制度改革については、民間で構成する大統領直属の「金融改革委員会」を設置、企業活力の回復につながる方向での制度改善を検討するとした。「(韓国企業を)排他的に保護、育成したり独自の経済政策を進めるのは難しくなった」として、市場開放に拍車をかける考えを示した。(新聞)

² 砂川 (1987) 45～46 頁

用例(18)で使われている三つの「について」「については」は、それぞれ置き換えが可能である。特に、はじめの「について」は、「しかし一方で」という対比的な語で導かれる節に用いられており、「は」の選択が、かなりの部分話し手の選択に任されていることがわかる。

そうはいっても、文中に明らかに対比的な要素があるときには、「は」がないのは不自然である。以下の用例では、「は」をとることはできない。(以下、{ } 内の最初の実例)

- (19) 前者においては、同じ場で出演している仲間の中の誰か(リーダー格の)を中心に、あるいは、そのリーダーによって、全体が演奏されるが、後者{においては／*において}、指揮者をもってはじめて演奏が可能となる。(力学)
- (20) そして、中小都市にはもはや住宅困窮者はいないし、農村の住宅{にいたっては／*にいたって}、いまやすばらしいの一語に尽きる。(ゆとり)
- (21) [外交機能] 台湾絡みで変更がある。香港にある台湾の機関・企業そのものは従来通りの扱いとなるが、台湾と国交を結んでいる国の香港領事館{については／*について} 閉鎖もしくは民間組織への変更が原則。(新聞)

一方、「は」をつけると、不自然になる場合もある。ここでは「について」を例に、「は」が付く場合とつかない場合の違いを見てみたい。以下の例は、「について」に「は」がついていないが、つけると不自然な文になる。

- (22) 新進党は九日、都内で同党議員全員を対象とする会議を開き、自衛隊の多国籍軍への参加容認論や十八兆円減税などを盛り込んだ「日本再建のための基本政策構想」{について／*については} 討議した。(新聞)
- (23) 首相はペルーの日本大使公邸人質事件{について／*については} 日本政府の立場を説明。(新聞)
- (24) 電話にしろ、訪問先でのことばにしろ、目上の人{について／*については} 存否を問うのには、まず自分の名を告げるのが礼儀でしょう。(敬語)

「について」「に関して」は、共起する述語がなんでもよいわけではなく、ある範囲の語に限られている。坂井(1992) 柏崎(2005) には、その共起する述語のリストがあげられているが、坂井は、「について」と共起しやすい動詞として、たとえば「話す、話し合う、語る、述べる、しゃべる、伝える、意見を出す、言う、報告する、質問する、説明する、協議する、議論する」などの言語活動を表す動詞と、「思う、考える、考察する、記憶する、迷う、悩む、思い出す、想像する、考慮する」などの思考活動をあらわす動詞をあげている。

ところが、この「について」「に関して」に「は」を付加すると、文に大きな切れ目が入り、元の文にはない意味が加わることになる。この機能を尾上 (1981) は「二分結合」とよぶ。複合助詞も「は」がなければ後ろの動詞と一続きにつながり、「は」が複合助詞につくと、述語と直接に呼応しなくなる。そのため、用例(22)から(24)のように述語に複合助詞が直接係る場合には、「は」はつけられない。

5 複合助詞＋対比の「は」

一般に、「は」には、大きく「主題」と「対比」の用法があるとされるが、この区別は必ずしも明らかではない。「主題」というのも、文、文章の中で「は」の前の名詞句を取り立てているのであるから、尾上 (1981) が言うように「“提題 (本稿で言う「主題」) ”の根底には常に意味としての排他性があるのであって、“提題”の「は」には「対比」の気持ちは全くないとか“対比”の「は」には絶対に“提題性”は感じられないとか言い切れるものではない」³。ここでは、「対比」の定義をもう少し限定して、「対比」を菊地 (1995) の言う「X についての情報を述べるとく述部>」という述べ方を「二つ以上の X について」「行い、その情報内容も対照的な場合」⁴と考える。実際には、「夏は～、冬は～」といった、X が対照的であることがわかりやすい文ばかりではないため、「対比」の「は」があった方が自然なのに、学習者が「は」を落とす場合も多い。野田 (2007) は、「対比を表す「は」は文脈との関係を考えなければ出てこないものであり、高度な処理が要求される。そのため、文脈まで考える時間的余裕がないときには、「対比」を表す「は」が落ちてしまうのだと考えられる」⁵と述べているが、おそらく時間的余裕だけではなく、母語でそうした文法形式を持たないこと、つまり、文法的にそもそも「対比」するという発想がないことも影響しているのではないだろうか。冒頭にあげた、次の学生の作文例は、「対比」の「は」があったほうがよい例である。

- (2) <表の説明>エネルギー不足について、中国、韓国、タイがやや高く、マレーシア、インドネシアが相対的に低い。

こうした表やグラフ (主題) について、特に複数ある情報を説明する時には、とりあげる各項目は並列的対照的な位置づけになるので、「は」を付加した方がよいということを学習者に説明しておくといだろう。

³ 尾上 (1981) 112 頁

⁴ 菊地 (1995) 37 頁

⁵ 野田 (2007) 57 頁

6 「複合助詞+は」が対比を表さない場合

これまで述べてきたように、複合動詞に「は」が付加される場合は対比の意味になるのが普通である。では、「対比」ではなく、複合助詞につく「は」が「主題」を表す場合があるだろうか。

複合助詞に「は」がつく場合とつかない場合の違いを論じたものは少ないが、その中で、佐藤他（2001）は、「について」が、主語に先立って文頭に来ていて、かつ「～については」となる場合には、文中で用いられる場合と異なって、述語に來る動詞の制限はゆるくなり、これから述べる文の＜全体のテーマ＞を差し出しているという⁶。そこであげられている例は、次のようなものである。

- (25) 映画と連俳との比較については岩波版日本文学講座中の特殊項目「映画幻術」の中に述べてある私見を参照していただきたい。（佐藤・小高他（2001）例文）
- (26) 同じように渡唐前の普照については、興福寺の僧であり、一に大安寺の僧だとも言われているという甚だ頼りない短い記述だけが残されている。（佐藤・小高他（2001）例文）

この例文の前に来る文が示されていないため明らかではないが、ここにあげられている例文は、むしろ「対比」の例と考えられる。

複合助詞に付加される「は」が「対比」ではなく「主題」を表す場合として次の二種類の複合助詞をあげることができる。

- 1) によって
- 2) について に関して をめぐって

順に見ていきたい。

6.1 「によっては」

「によっては」が主題を表す用例とは、次のようなものである。

- (27) それらのレコードはいつのまにやら散逸してしまってわたしの手元にはないが、ラジオ、映画、そして初期のレコードといったようなものが出そろったのも昭和初年だったのである。かんがえようによっては、現代娯楽の原型となるものがここで出そろったということになるのかもしれない。（パチンコ）

⁶ 佐藤他（2001）53 頁

- (28) したがって、個人をとりまく諸条件への順応が常に期待されると同時に、その範囲内にとどまるならば、時と場合によっては、個人の相当なわがままが可能である。
(力学)

「によっては」は、「によって」と異なる意味を持ち、それで固定した表現なので、言い換えることはできない。

- (29) 病院 {によっては／＊よって}、休日も診療する。
(30) 地震 {＊によっては／よって}、家屋が倒壊した。

「人によって考えが異なる」の「によって」は述部に直接係っているが、「人によっては考えが異なる」は、ある人の場合を取り上げて述べていることになる。ただし、「によっては」が対比を表さないということではない。次の例は、前に取り立ての「は」があることから、対比と解釈するのが自然だろう。

- (31) 電子メーカーの現地生産は、分野によってはもっと進んでおり、テレビなどは、アメリカの GE やウエスチングハウスなどにも OEM で供給しており・・・(企業)

6.2 「については」「に関しては」「をめぐっては」

以下の例では、下線部の「については」「に関しては」「をめぐっては」から「は」をとると、文の座りが悪くなる。なお、各用例において「は」のついたものが原文、(32)は冒頭文である。

- (32) ◆年齢推定に貢献

初期宇宙における銀河の形成 {については／？について}「トップダウン」と「ボトムアップ」の二つの理論があった。トップダウン説は、ビッグバンでできた巨大なガス雲が冷却され、次第にしぼんで現在の銀河になったと説明する。ボトムアップ説は、巨大なガス雲がいったん細かく分解され、その小さな初期銀河が衝突・合体を繰り返して、より大きな現在の銀河になったとする。ハッブルの画像はボトムアップ説を支持していた。(新聞)

- (33) 31 日午後 11 時過ぎ、防衛庁で会見した河尻融防衛審議官は北朝鮮による弾道ミサイル発射について「周辺海域を航行する船舶にも危険で、大量破壊兵器の拡散という観点からも極めて遺憾」と述べたが、ミサイルの高度や着弾点などの詳細については「調査中」「確認されていない」などの言葉を連発し、突然の出来事にとまどう防衛庁の混乱ぶりをあらわにした。

北朝鮮の弾道ミサイル開発 {については／？について}、米軍から過去何度も「実験を準備中」とか「実戦配備した」といった情報が寄せられていた。しかし、防衛庁の一部には「米国が、膨大な予算が必要とされる戦域ミサイル防衛（TMD）の開発に、日本を取り込むための観測気球ではないか」と冷ややかな見方も少なくなかった。（新聞）

- (34) 日本でも、土地が私有されることになった歴史は新しく、明治以後のことである。それまでは、土地に排他的な使用収益処分の権利が成立するなどとは、誰も考えなかった。農地 {に関しては／？に関して}、永代売買の禁止の制度があつて、所有権を考える余地はなかった。（法感覚）
- (35) 「言う」ということ {をめぐつては／？をめぐつて}、ゼロの「言う」と並ぶ表現として、「話す」「しゃべる」がありますので、これについて少し述べておきましょう。（敬語）

上にあげた用例では、述部に動詞述語は使われておらず、(32)は、「理論があつた」、(33)では、「情報が寄せられていた」、(34)は「制度があつて」、(35)は「「話す」があります」と、存在文に相当する述部となっている。これらの「については」「に関しては」「をめぐつては」は既知のことがらを取り上げており、主題に近い働きをしていると考えられる。これらの文で、全体を主題の「は」「には」に置き換えて、(32)は、「初期宇宙における銀河の形成には「トップダウン」と「ボトムアップ」の二つの理論があつた。」、(33)「北朝鮮の弾道ミサイル開発には・・・情報が寄せられていた」、(34)「農地には・・・制度がある」、(35)「「言う」ということには・・・がある」とすることもできる。ただし、「は」は、前に来る名詞そのものを取り立てているのに対して、「については」「に関しては」「をめぐつては」⁷は、それにかかわるものということで、指し示す範囲が漠然としており、「は」にない意味を持つものであるから、常に言い換えられるわけではない。次の例に見るように、「は」と置き換えるのは適当でない場合もある。

- (36) [金鍾泌・韓国首相、AMF 設立を提唱—アジア通貨危機に備え、政府は慎重姿勢 [11 面] 08]

韓国の金鍾泌首相が 28 日の小渕恵三首相との会談で、日本を中心としてアジアの通貨危機に即応する 3,000 億ドル規模のアジア通貨基金（AMF）を設立するよう提唱した。金首相は 30 日に行った九州大での講演でも「アジア各国が AMF のような地域協力機構を作っていたなら、もっと早く金融危機を収拾できた」と述べ、必要性を訴えた。しかし、日本側は総額 300 億ドルの 2 国間支援を中心とした新

⁷ 「については」「に関して」の使い分けについては、金（1990）、柏崎（2005）が詳しい。

宮沢構想を実施し始めたばかり。韓国側の「突然の提案」(大蔵省幹部)に戸惑っている。

AMF {については／＊は}、昨年夏のアジア通貨危機を受け、日本が主導して実現に向け動こうとした。だが、日本のアジアでの影響力強化を恐れる米国が反対し、日米と東南アジア諸国連合 (ASEAN) などが必要な時に国際通貨基金 (IMF) 融資の不足分を補うことで決着した経緯がある。(新聞)

複合名詞につく「は」が主題を表わすということが、数ある複合助詞の中の「について」「に関して」「をめぐって」に起こるのは、この複合助詞が話題に言及するといった、主題に通じる意味合いを共通に持つためだと考えられる。

なお、「にして」「となって」も、「にしては」「となつては」という固定表現を持つ点で、常に「は」を必要とする「によつては」と似ている。しかし、「にしては」「となつては」は後ろにマイナスの表現が来るという点で、動詞のテ形に「は」がついた「ては」と共通する。この点で、ここで扱う複合助詞には含めなかった。

7 おわりに

本稿では、複合助詞に「は」がつく場合、つかない場合、また、必要とされる場合はどういう場合なのかをみてきた。簡単にまとめると、次のようになる。1. 複合助詞には「は」がつき得るものと、つかないものがある。その違いは、前者が、文中で格関係を担う点にある。2. 複合助詞を対比的に用いる時には「は」を付加する必要がある。3. 「によつては」は、常にその語の意味において「は」が必要な固定表現である。4. 複合助詞は多くの場合述語と呼応するが、後ろに「～がある」といった存在文が来る場合には、主題に近い「は」が必要となることがある、「については」「に関しては」「をめぐつては」は、特に文章の冒頭で使われることがあるので、日本語学習者に注意を促す必要がある。

複合助詞に主題に近い「は」が付加される例として、本稿では、話題にかかわる「について」「に関して」「をめぐつて」をあげた。しかし、それ以外の複合助詞においても、数は少ないものの、以下の例にみるように、対比ではない「は」が用いられる場合もあるようだ。

- (37) このようにブラックホールの中で、時間が反転だの順方向だの、あるいは時間が空間になってしまうなどと言われても、読者諸氏も迷うだけだろう。事実、誰も中をのぞいた者はいない。提唱者はそれぞれ、自分の計算式から結論を述べているのだが、人によってかなり違う。要は……よく(というよりも、むしろ全く)わからない

いことなのである。だから書を読む {にあたっては／？にあたって}、そのような説もあるんだな、という程度にとどめておいた方が無難なようである。(時間)

- (38) 幕府は寛永二十年（一六四三）、田畑の永代売買を禁止した。これは農民相互間における耕地の売買が目立つようになったからである。(中略) いずれにしても、幕府 {としては／？として}、農民が没落しないよう、年貢納入者を確保する必要があるのだのである。(近世)

尾上(1981)は、“提題”(本稿でいう「主題」)の特殊なケースの一つとして、「雨が降った場合は遠足は中止になる。」をあげている。この類の文では、後続する叙述内容の時空間的なあり方、限定が取り出され、それを「は」の部分状況として提示するという。上にあげた例(37)も「ときには」「場合は」と言い換えが可能で、これに近いと言えるだろう。(38)の例については、「としては」が主題の「は」と置き換え可能だが、一方でこの「としては」には、対比性も感じられる。そもそも「は」が「対比」を表すか「主題」を表すかについては、線引きが難しい。寺村(1991)は、「 $X \text{ ハ } P$ 」における「ハ」の基本的な機能は、「 X について P である」ことを言うと同時に、「 $\sim X$ について $\sim P$ である」ということ(影)を暗示し、その影との対比的な意味を生じさせるところにある⁸として、対比の意味を「は」の基本とする。しかし、尾上(1981)のように「文というものはすべて、元来カオスの中からその文事態を特に取り出すという面をもち、その限りで他の文事態一般との区別、対立を内包するものである」から、対比は、「他の対立的事態が、何らかの条件によって、強く想起される場合に限られる」⁹とする立場もある。複合助詞に「は」がつく場合には「対比」と言えない上のような用例も存在するが、かといって、「については」の類を別にして、それらが主題を表すとも言い難い。たとえば、「によっては」「としては」は、文の中ではたしてどんな役割を担っていると言えるのだろうか、格助詞よりも細かい関係機能を果たす複合助詞に「は」がついた場合は、主題の「は」にはなりえず、また、その意味が細かく限定的であるために、対比に近づきやすく、対比と主題の中間的な位置にあるものが存在するということになる。

複合助詞は、それが用いられる文において、前に来る語と後ろに来る述部の性格、さらには複合助詞自体が持つ意味・機能によって、文の中で異なるふるまいをする。塚本(1991)は、複合助詞の動詞部分の意味の実質性や連体形の有無といった観点から複合助詞を分類しているが、ここで行った「は」が付加するかどうかという観点も、どういう格を担うか、助詞性が強いかわ動詞性が強いかわといった複合助詞の意味・用法の広がり进行分析するのに有効であると思われる。さらなる分析は今後の課題としたい。

⁸ 寺村(1991) 41 頁

⁹ 尾上(1981) 103～104 頁

例文出典

新聞：『毎日新聞 '98 データ集』 日外アソシエーツ

(新聞と学生の作文例、作例以外の用例の採取には、データベース CASTEL/J を用いた。)

タテ社会：中根千枝『タテ社会の人間関係』 講談社

適応：中根千枝『適応の条件』 講談社

力学：中根千枝『タテ社会の力学』 講談社

近世：高尾一彦『近世の日本』 講談社

敬語：野元菊雄『敬語を使いこなす』 講談社

睡眠：井上昌次郎『睡眠の不思議』 講談社

ゆとり：飯田経夫『「ゆとり」とは何か』 講談社

企業：下川浩一『日本の企業発展史』 講談社

パチンコ：加藤秀俊『パチンコと日本人』 講談社

憲法：中川剛『憲法を読む』[絶版] 講談社

形副篇：森田良行『日本語をみがく小辞典<形容詞・副詞篇>』 講談社

停年：森清『選び取る「停年」』 講談社

たべもの：河野友美『たべものと日本人』 講談社

西洋史：今津晃『二十世紀の世界』 講談社

法感覚：中川剛『日本人の法感覚』 講談社

神々：平野仁啓『日本の神々』 講談社

働く：黒井千次『働くということ』 講談社

参考文献

尾上圭介 (1981) 「「は」の係助詞性と表現的機能」『国語と国文学』5 月 至文堂

柏崎雅世 (2005) 「「について」と「に関して」－「に対して」を視野に入れながら－」『東京外国語大学留学生日本語教育センター論集』31 東京外国語大学

菊地康人 (1995) 「「は」構文の概観」『日本語の主題と取り立て』くろしお出版

金仙姫 (1990) 「現代日本語における「について」「に関して」「に対して」の用法上の差異について ―アンケート調査を中心に―」『国語学研究』30 東北大学文学部

国立国語研究所 (2001) 『現代語複合辞用例集』国立国語研究所

坂井厚子 (1992) 「「について」「に対して」の意味・用法をめぐって」『信州大学教養部紀要』26 号 信州大学

佐藤尚子・小高愛・白鳥智美・宮川和子・遠藤真由美 (2001) 「社会科教科書における後置詞について」『千葉大学留学生センター紀要』7 号 千葉大学

砂川有里子 (1987) 「複合助詞について」『日本語教育』62 号

寺村秀夫 (1991) 『日本語のシンタクスと意味Ⅲ』くろしお出版

塚本秀樹（1991）「日本語における複合格助詞について」『日本語学』10・3

野田尚史（1996）『「は」と「が」』くろしお出版

———（2007）「日本語非母語話者の日本語とりたて助詞の不使用」中西久美子編『主題・とりたてに関する非母語話者と母語話者の運用能力の対照研究』平成15年度～平成18年度科学研究費補助金基盤研究(C)(1)研究成果報告書

（さ え ぐ さ れ い こ 法学研究科教授）